

食品と容器

FOOD & PACKAGING

2018

No. 1

VOL.59

CONTENTS

▽新年のご挨拶 加藤 寛之 2

▽第1特集 新春誌上座談会

食品安全認証の活用による食品マーケティングの新たな展開	4
食品の安全と認証制度	湯川剛一郎 6
JGAP/ASIAGAP 認証制度の概要と普及に向けた課題	荻野 宏 13
日本発の JFS スキームと国内・海外戦略について	西谷 徳治 20
水産物の産地市場が取り組む品質・衛生管理	岡野 利之 28
中小企業における HACCP 導入の際の問題点・課題への対応	北村 忠夫 36

▽第2特集 海外事情

微笑みの国 タイ王国に魅せられて	田嶋 一雄 44
バンングラデシュの食事情	51
シェイク モハマド モニラッツアマン 訳：天野 かよ, 渋谷 緑	
コスタリカでのボランティア活動と日常の風景	松本 仁 58
大学生が語る知られざる州, アイオワの暮らしと食文化	橋本 翠 65

▽最近の技術雑誌から 72

▽古今東西全部入り⑥

「モリとハエの時代」 コーヒー豆（浅煎り） 77

第1特集

新春誌上座談会

食品安全認証の活用による食品マーケティングの新たな展開

食品の安全と認証制度 ……………湯川 剛一郎

JGAP/ASIAGAP 認証制度の概要と普及に向けた課題
……………荻野 宏

日本発の JFS スキームと国内・海外戦略について ……西谷 徳治

水産物の産地市場が取り組む品質・衛生管理 ……岡野 利之

中小企業における HACCP 導入の際の問題点・課題への対応
……………北村 忠夫

第2特集

◆ 海 ◆ 外 ◆ 事 ◆ 情 ◆

微笑みの国 タイ王国に魅せられて……………田嶋 一雄

バングラデシュの食事情……………シェイク モハマド モニラッツアマン
訳：天野かよ，渋谷 緑

コスタリカでのボランティア活動と日常の風景……………松本 仁

大学生が語る知られざる州，アイオワの暮らしと食文化……………橋本 翠

■ 食品安全認証の活用による食品マーケティングの新たな展開 ■

我が国では食品の安全性については食品衛生法により、すべての食品等事業者が自らの責任において安全性を確保することが義務付けられている。これは、食品を供給するすべての事業者は安全な食品を供給できているはずという考え方であり、認証制度により、安全な食品を提供できる事業者について消費者の選択にまかせるという考え方ではない。しかし、国内でも民間企業同士の取引、輸出入により検疫などの国境措置が伴う場合については、安全な食品の供給について、より安定的に供給できる能力があることを認証制度により確認することはしばしば見られることである。また、消費者の信頼の面でもそうした能力の高さをアピールすることは大きな意味を持つ。

今回の特集では食品安全に係わる認証制度に焦点を当て、それが食品等事業者の事業展開にどのような影響を及ぼしうるのか、また、今後、どのような分野において認証取得の圧力が高まるのかなど、認証制度と国内外における食品マーケティングの関連に留意しそれぞれの分野で活躍されている方に詳しく分析・解説をお願いした。

まず総論として、コーディネーターをお願いした東京海洋大学大学院食品安全流通管理専攻の湯川剛一郎氏に『食品の安全と認証制度』を述べて頂き、各論の認証制度の実際としては、一般財団法人日本 GAP 協会の荻野宏氏に『JGAP/ASIAGAP 認証制度の概要と普及に向けた課題』を、日本食品安全マネジメント協会の西谷徳治氏に『日本発の JFS スキームと国内・海外戦略について』をお願いした。さらに、認証への取組による新たな事業展開として、『水産物の産地市場が取り組む品質・衛生管理』を一般社団法人海洋水産システム協会の岡野利之氏に、『中小企業における HACCP 導入の際の問題点・課題への対応』を NPO 法人食品保健科学情報交流協議会の北村忠夫氏に解説頂いた。

食品の安全と認証制度



東京海洋大学 大学院食品安全流通管理専攻 教授

湯川剛一郎 (ゆかわ ごういちろう)

京都大学理学部生物物理学科卒業。

農林水産省入省、食品流通局（現消費・安全局）、東北農政局、在インドネシア日本大使館、岡山市役所経済局農林部、独立行政法人農林水産消費安全技術センター、一般財団法人日本食品分析センター等を経て現職。

専門は、食品の品質管理、HACCP、食品表示、食品衛生関連法規・制度、技術者倫理等。

技術士（農業部門（食品化学）、総合技術監理部門）。

JGAP/ASIAGAP認証制度の概要と普及に向けた課題



一般財団法人 日本 GAP 協会 事務局長

荻野 宏 (おぎの ひろし)

東京農工大学農学部卒業。農業経済職で農林水産省に入省。食糧庁企画課，畜産局牛乳製品課，中国四国農政局企画調整室，総合食料局流通課卸売市場室，農林漁業金融公庫出向等を経て2008年に農林水産省を退職。

2014年に日本 GAP 協会に入り，管理調査部を経て，2015年に事務局長に就任。JGAP/ASIAGAP スキームの開発と運営を統括している。

日本発のJFSスキームと国内・海外戦略について



一般財団法人 食品安全マネジメント協会 理事長

西谷 徳治 (にしたに とくじ)

東京大学法学部卒業。

1966年八幡製鐵株式会社 (現 新日鐵住金株式会社)，2001年日本検査キューエイ株式会社代表取締役社長。

現在，一般財団法人食品安全マネジメント協会理事長，弁護士 (江橋・鈴木法律事務所)，特定非営利活動法人ジェン (JEN) 理事。

水産物の産地市場が取り組む品質・衛生管理



一般社団法人 海洋水産システム協会 研究開発部 部長代理

岡野 利之 (おかの としゆき)

東京水産大学 (現 東京海洋大学) 修了。技術士 (水産部門)。

日本遠洋旋網漁業協同組合，西日本魚市株式会社を経て現職に至る。現職では，全国の産地市場を毎年30カ所以上訪問して，品質・衛生管理に関わる講習会や現地指導等に取り組んでいる。事業紹介 HP: <http://www.ichiba-qc.jp/>

他，公益社団法人日本技術士会水産部会幹事，国立研究開発法人水産研究・教育機構水産利用関係研究開発推進会議幹事等を務める。

中小企業におけるHACCP導入の際の問題点・課題への対応



NPO 法人 食品保健科学情報交流協議会 (食科協) 専務理事

北村 忠夫 (きたむら ただお)

宇都宮大学大学院農学研究科農芸化学専攻修了。

千葉県衛生部 (現健康福祉部)，(株)オリエンタルランド，(株)紀文食品。

2001年の千葉県における BSE 牛の発見時の対策を担当し，リスク分析を学び，その後，NPO 法人食科協に参加，食の安全に関するリスク管理及びリスクコミュニケーションに関する活動を担当。